

可搬型階段昇降機

【ビッグキャリー】

品番：AD-W7BC

取扱説明書



～もくじ～

- | | |
|--------|---------------------|
| P2・・・ | はじめに／ご使用前に |
| P3・・・ | 各部の名称 |
| P4・・・ | 製品の仕様／各部の材質 |
| P5・・・ | 梱包物 |
| P6・・・ | 製品の組み立ての手順 |
| P7・・・ | 製品の折り畳みの手順 |
| P8・・・ | 使用方法（昇降前の準備手順／昇り手順） |
| P9・・・ | 使用方法（降り手順） |
| P10・・・ | バッテリーと充電器の注意事項 |
| P11・・・ | バッテリーの特性と製品仕様 |
| P12・・・ | バッテリーの操作と表示 |
| P13・・・ | こんな時 |

■はじめに

このたびは可搬型階段昇降機【ビッグキャリア】（以下：ビッグキャリア）ご使用になる前に必ず読んでください。本書は、ビッグキャリアの所有者の方及び、ご使用者の方へ必ずお守り頂きたいこと（安全上の注意事項、必ず実施頂きたいこと、取扱いの注意事項）を記載致しております。

- ご購入時のご使用前には**必ず良くお読みいただき**、正しくご使用ください。
- 本書は必要な時にすぐに読めるよう、お手もとに大切に保管下さい。
- 本書の内容について、ご不明な点、ご理解いただけない点がある場合は、当社または販売店までお問い合わせ下さい。

■ご使用前に

出荷時には、十分な検査をしておりますが、ご使用前に点検をお願い致します。

部品の破損、ボルト・ナットの脱落はないか、ガタつきや不具合はないでしょうか。点検をお願い致します。

ビッグキャリアの商品や付属品をご使用になる前に、気になる点がございましたらご連絡をお願い致します。




⚠ 【警告】

- ビッグキャリアは、荷物を乗せて階段を昇降するものです。本来の目的以外には使用しないで下さい。
- 故障、異常のある時には、使用しないでください。
- 雨天時や、路面がぬれている場合は、**使用しないでください。滑り落ちる可能性があります。**
- モーターやバッテリーの発火の恐れがありますので、火の元へは近づけないでください。
- 最大積載量が200kgを超えてのご使用はおやめ下さい。
- 特殊な階段などのご使用はおやめ下さい。（らせん階段や、脚立等）
- 長時間ご使用にあたり、バッテリーやモーター等、熱くなった場合はご使用をおやめ下さい。
- ボギーが収まらないサイズでの階段の使用はおやめ下さい。（別紙にてサイズ記載）

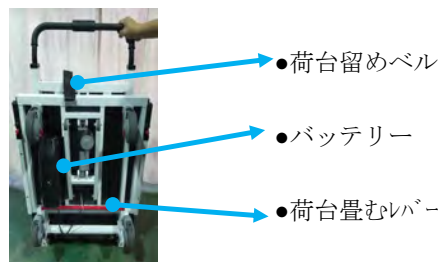
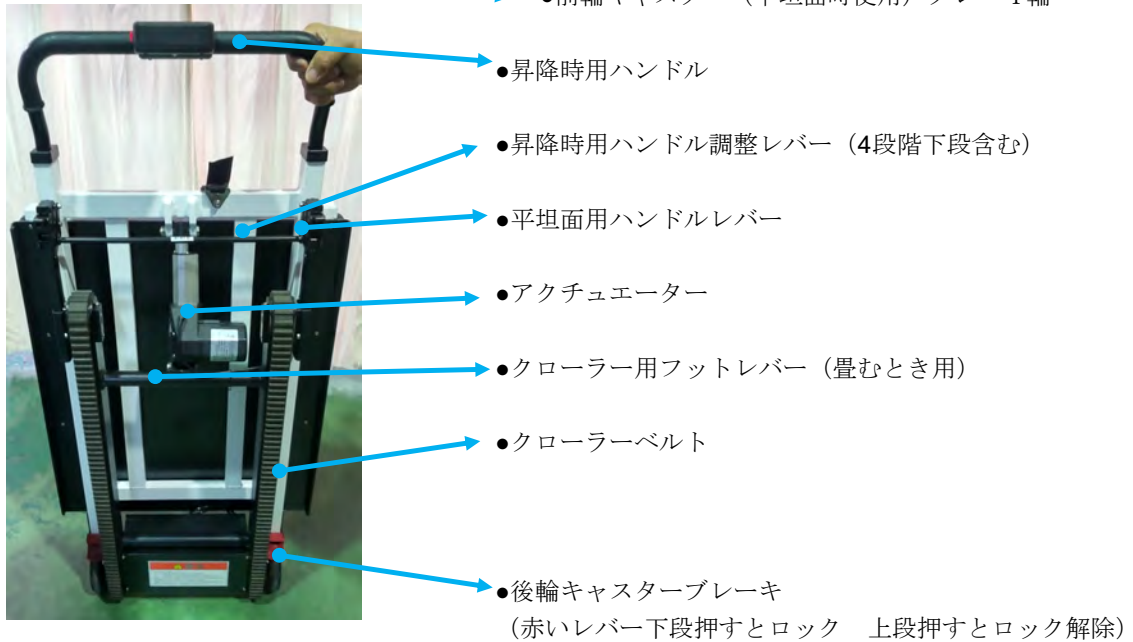
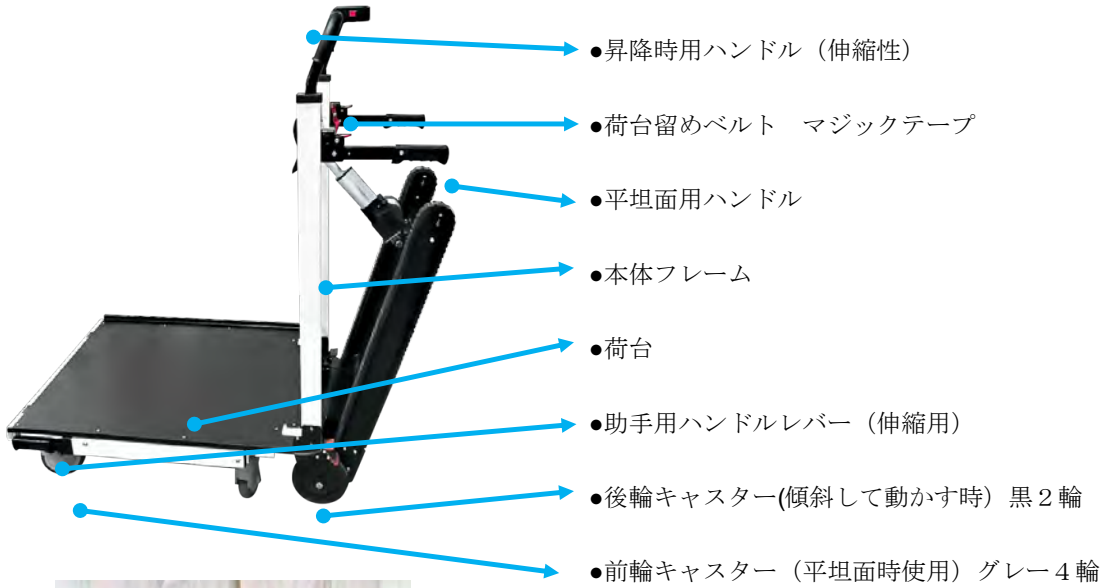
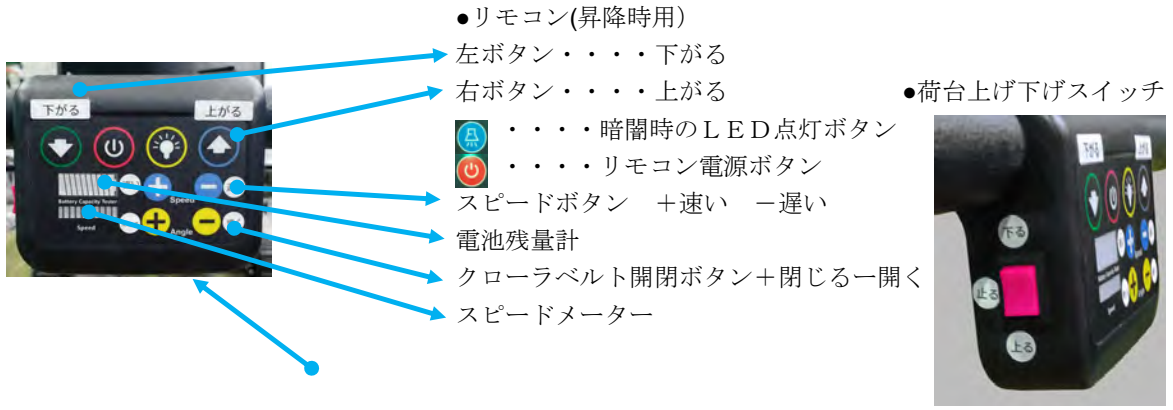
⚠ 【注意】

- 台車でのご使用の際、溝や長い昇り降り坂でのご使用は危険です。
- エレベーターを使用の際、ドアの隙間に車輪が落ち込まないか必ず確認してください。
- 定期的に、点検・清掃・整備をして下さい。
ボルトやナットの緩み・脱落、フレームのゆがみ、ガタつき、クローラーの摩耗や劣化、泥やほこりなどはぬれた布でふき取って下さい。あと乾いた布で拭いて下さい。

- 保証書・・・保証期間は**1年間**です。但しバッテリーは**6カ月**となります。大切に保管をお願い致します。（別紙）
- アフターサービス・・・万が一故障や不具合がございましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社まで恐れ入りますがご連絡をお願い致します。

	安全にかかわる注意情報を示してあります。
 警告	取り扱いを誤った場合、死亡・重傷・障害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	取り扱いを誤った場合、物的障害の発生が想定される場合を示してあります。

■ビッグキャリア 各部の名称



装着時裏側



真上側

■製品の仕様

品名	可搬型階段昇降機 【ビッグキャリア】
品番	AD-W7BC
モーター	DC 36V
バッテリー	DC 36V 15Ah
充電時間	最長約5～8時間（使用状況による）
標準付属品	バッテリー（着脱式）／専用充電器

※品質向上の為、予告なしで仕様変更の場合があります。

■各部の材質



・本体フレーム	アルミニウム合金／鉄
・荷台	アルミニウム合金／鉄
・各ハンドルカバー	ポリウレタン系樹脂
・前輪／後輪	ゴム／プラスチック／鉄
・クローラー	合成ゴム
・スロープ	アルミニウム合金

■梱包内容

*ご購入後、下記の商品が入っているかご確認をお願い致します。

<ul style="list-style-type: none">●ボギー本体  <p>*畳んだ状態</p> <ul style="list-style-type: none">●スロープ 	<ul style="list-style-type: none">●リチウムイオンバッテリー  <ul style="list-style-type: none">●専用充電器  <ul style="list-style-type: none">●六角レンチ 2種(クローラー調整用) 
<ul style="list-style-type: none">●小物入れ (バッテリー・充電器・・・)  	
<ul style="list-style-type: none">●取扱説明書 (本書)●保証書 (購入の場合)	

■製品の組み立ての手順

図 1



図 2



図 3

結束ベルト

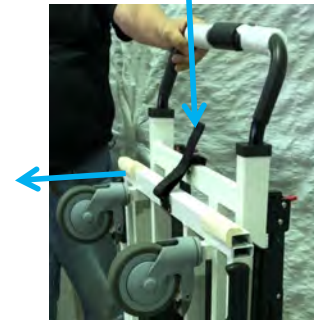


図 4



図 5



クローラベルト開閉ボタン
⊕ 閉じる ⊖ 開く



平坦面用レバー

*バッテリーは初回は満量にしていません。輸送の定格容量内にしています。満量にしてください。充電の際はスイッチONにして充電してください。(10ページ参照)

①バッテリーを荷台裏側に上から下へセットします。*スイッチONにしてからセットしてください。

図 2 充電済のリチウムイオンバッテリーを取付場所に①はめ込み②下へ奥までスライドさせて取付ます。

②図 3 結束ベルト (マジックテープ) をはずし、荷台を起こす

③図 4 本体を起こし、平坦面用レバーを起こします

④図 5 クローラベルト開閉ボタンで階段角度に合わせてひろげます。(無段階)

⑤図 6 昇降時用ハンドル調整レバーを押しながら上げる (カチ 3段階 スロープを付けて荷物を載せ、終わるとスロープをはずす。)

図 6

高さ3段階



昇降時用ハンドル高さ
調整レバー



スロープ取付穴2ヶ所



<組み立て完成写真>

■製品の折り畳み手順

図 1



図 2



開閉ボタン



図 3



図 4



平坦用レバー下げるボタン

図 5



画像旧タイプ使用

図 6

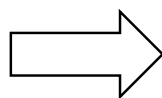


図 7



- ①左右共にキャスターのロックがONになっていることを確認して下さい。
- ②図 1 ①のレバーを下へ押すと昇降時用ハンドルが下がります。
(ハンドルには手を添えて下さい)
- ③クローラーは、図 2 ベルト開閉ボタンで閉じます。図 3 の様に折り畳むことができます。
- ④荷台の畳み方は、図 4 の様に荷台の下の赤いレバーを矢印の様にモーター側に上げると、
図 4 のように折り畳むことができます。(この時、ビッグキャリアを寝かした状態にして下さい。)
- ⑤折り畳んだ後、荷台が広がらないように固定ベルトで留めてください。図 6 図 7
- ⑥平坦レバーは黒いボタンを下げると畳めます。図 3
　　< 広げた状態 >

< 折り畳み完成写真 >



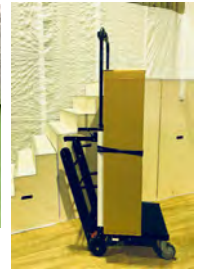
■使用方法 (昇降前の準備手順／昇り手順)

＜昇降前の準備手順＞

- ① キャスターにロックがONになっている事を確認して下さい。
- ② 荷物を荷台に載せますが必要であればスロープを付けて載せてください
- ③ 荷物を荷台に乗せ、固定ベルトで装着して下さい。
(たるみがなく、また締めすぎないように、荷物調整して下さい。)
- ④ 十分に充電されたバッテリーの電源をONにします。
- ⑤ リモコン操作の電源をONにします。



スロープを付けて



荷物固定

※必要に応じて、夜間や暗い階段などでは、足元などを照らすライトを点灯してお使いいただけます。

これで準備は完了です。

＜昇り手順＞

- ① 図1「ビッグキャリア」を階段に近づけ、荷台を上げてからクローラーベルトを広げます。一で開きます上側押しと上がっていきます。



下側押しと下がる
無段階のためお好みの角度で真ん中に戻すと止まります。
荷台の角度が決まれば必ず真ん中の停止にしてください。



- ② 図2の操作ボタンの右ボタン「上がる」を押すと、クローラーが回転し、昇って行きます。※ボタンを放せば止まります。
※図4スピード調節は、走行中も調節出来ますが初めに調節してご利用ください。

- ③ 昇りきると、ビッグキャリアを起こした際に前輪と後輪が水平になるまでそのまま後ろへ下がって下さい。
※前輪が一段でも下で着地すると、階段から落下する危険がありますので必ず図3の様に、前輪が後輪と水平に着地できる事を確認してから、起こして下さい。

図1

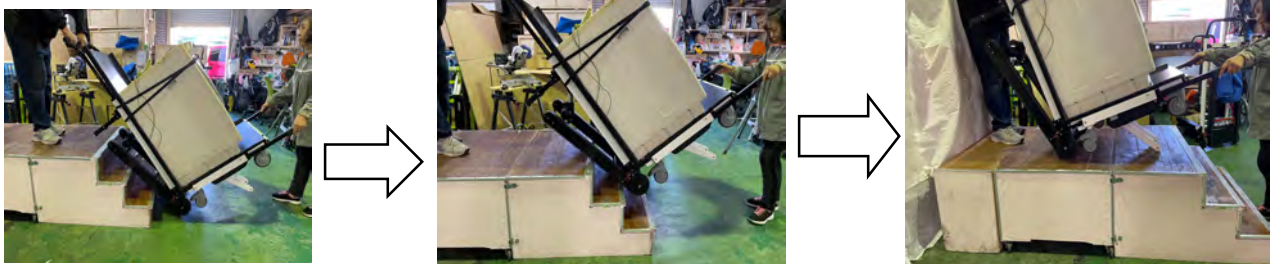


図2

電源 ライトボタ 上がるボタン



クローラベルト開閉ボタン

図3



図4



スピードメータ スピード 調整ボタン

■使用方法 (降り手順)

<降り手順>

- ①図1の様に、「ビッグキャリア」の前輪が落ちないように確認しながら階段の端に近づきます。
- ②図2荷台を上げてから図4のリモコン操作の左ボタン「下がる」を押すと前に進み、階段とクローラーが平行に沿ってゆっくり進んでいきます。***ボタンを放せば止まります。**



荷台上げ下げボタン

- ③図3のように下まで降りた際、クローラーが一番下の段に接地したことが確認出来れば、起こすことが出来ます。

図1



図2

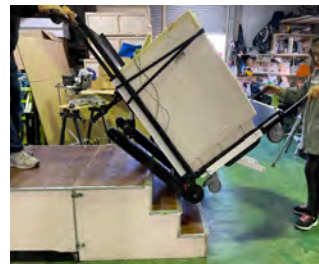


図3



図4



降りるボタン

■ バッテリーと充電器の注意事項



～バッテリーの取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・バッテリーケースに損傷や傷がある時、または異臭がする時は使用しないでください。
(異常を感じたら、すぐに販売店または弊社までご相談下さい。)
- ・バッテリーに水をかけたり、水の中に入れてください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。
- ・バッテリーを分解・改造はしないでください。
- ・バッテリーを火中に投入したり、過熱はしないでください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。

～充電器の取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・充電器を他の電気機器等に使用すると、火災や破裂の原因になりますので使用しないでください。
- ・充電器を水で濡らしたり雨中で使用しないでください。感電や火災の原因になります。
- ・電源プラグを根元まで確実に差し込んで下さい。
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。
- ・コードの上に物を乗せたり、はさんでの固定はしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・濡れた手で電源プラグを取り扱ったり、充電端子に触れたりしないでください。感電するおそれがあります。
- ・コードを束ねた状態で使用したり、充電器本体に巻きつけて保管しないでください。
- ・コードの損傷により火災や感電の原因になります。
- ・充電器を落としたり、衝撃を与えないでください。発熱・発火・破損の原因となります。

～充電中 感電や火災を防ぐために～

- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないで下さい。
たこ足配線などで定格を超えると発熱により火災の原因となります。
- ・充電中は長時間、皮膚を充電器の同じ場所に触れさせないでください。低温やけどのおそれがあります。
- ・幼児やペットが触れるところに放置しないでください。感電や火災、故障の原因になります。
- ・充電中に周囲にカバーしたり、上に物を置かないでください。内部が発火し、火災のおそれがあります。
- ・ガソリンなどの引火物や引火性ガスの近くでは充電しないでください。火災や発熱などの原因となります。
- ・電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いて下さい。湿気などの絶縁不良となり、火災の原因になります。
- ・コードが損傷している時は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- ・充電がいっぱいになるとランプは赤色から緑色にかかります。自動では切れません。
- ・緑色になるとコンセントから抜いてください。そのまま放置は火災の原因にもなります。

注：充電するときはバッテリーのスイッチを必ず「ON」にしてください。充電終わると必ず「OFF」にしてください。

■ バッテリーの特性と製品仕様

らく段は、リチウムイオンバッテリーを装備しております。

このバッテリー : リチウムイオンバッテリー 13Ah

リチウムイオンバッテリーは軽量で電池容量に優れたバッテリーですが、以下の特性があります。

- ・ 過度の暑い環境／寒い環境で性能が低下する。
- ・ 使用していなくてもわずかずつ放電する。
- ・ バッテリーの残量にかかわらず、充電できる。
- ・ 満充電のバッテリーを繰り返し充電すると劣化が早くなる。



※充電に適した環境

過度に暑い場所や寒い場所では正しく充電できないことがあります。以下の充電に適した環境で行ってください。

- ・ 温度が15～25°Cの室内
- ・ 雨や水にぬれないところ
- ・ 直射日光に当たらないところ
- ・ 風通しがよく湿気がないところ
- ・ 幼児やペットが触れられないところ

※バッテリーの寿命と交換

バッテリー容量は充放電を繰り返し（700～900サイクル）行くと、新品の時の約半分にまで低下します。また長期間保管している時も、わずかずつですが、バッテリー容量は低下します。

バッテリー容量が低下すると、一充電当たりの走行距離が短くなります。充電しても回復の兆しがなければ、交換時期です。出来るだけ早めのバッテリーを交換して下さい。

なお、この場合の交換は有料となります。

※充放電の「1サイクル」とは、満充電したバッテリーをバッテリー残量が0（ゼロ）になるまで使用し、再び満充電にする一連の工程をいいます。

※バッテリーの交換時のお願い

リチウムイオンバッテリーは資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）で、使用後の回収および再資源化が義務付けられています。交換したバッテリーの回収は、ご購入の販売店または弊社にご依頼下さい。

※バッテリーの充電方法

- ①充電器とバッテリーをつなぎます。
 - ②コンセントを差し込みます。
 - ③バッテリースイッチをONにする。
（充電器のランプが赤から黄緑色に変わると、充電が完了です。）
- ※念の為バッテリー本体のメモリでもご確認ください。

蓄電池	品番・種類	リチウムイオンバッテリー
	定格電圧	DC36V
	定格容量	15.6Ah
充電器	品番・形式	GJS150-4200300
	電源	AC100-240V 50-60Hz
	消費電力	DC42V 3.0A
	充電時間	5～8時間

※充電時間は、お買い求めいただいた「ボギー」に装備されているバッテリーと充電器を使用して、バッテリーの残量ランプの1灯点滅まで使用した時、満充電までのおおよその時間です。バッテリーの種類および充電器の種類によって充電時間は異なります。

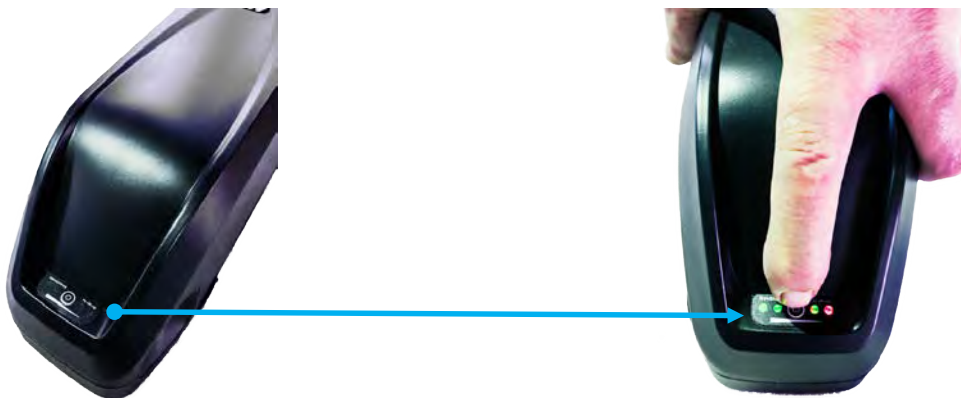
■ バッテリーの操作と表示

バッテリー本体の表面には下記の様にボタンとメモリがあります。

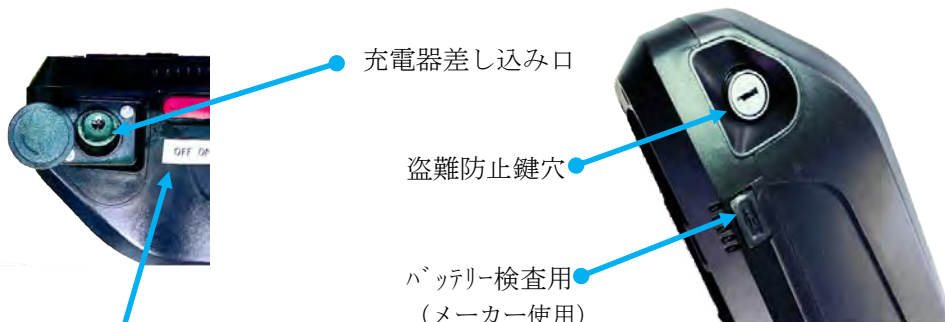
右端にありますメモリの中央ボタンを押すと、充電残量を示すランプが灯ります。（離すと消えます）

【参考】4つのランプが灯り、緑3個で満充電できてます。
電池が減少すると緑のランプが1個ずつ消えていきます。
赤色一つで要充電ですが緑1個で充電される方が充電時間が早いです。

※使用状況・環境により変動します。



バッテリー本体の表面と裏面には下記の様にボタンや充電器差し込み口があります。



充電器差し込み口

盗難防止鍵穴

バッテリー検査用
(メーカー使用)

主電源 (本体にシール表示有り) **OFF ON** 本体に取付るとスイッチは真下にきます。
○がON／ーがOFFです。
(使用しない時はOFFにして下さい。)



本体との結合部

半分凹んでる面を左側にして中央ではめ込み
左へ最後まで押し込むと装着できます。
はずす時は右へ押します。
その時バッテリーが落ちないように気をつけて
ください。

■ こんな時

*クローラーベルト動かない	充電できていますか バッテリーがキチンと奥まで入ってますか
*残表示が出ない *足元ランプがつかない	充電できていますか バッテリーが正しくセットされていますか
*充電ができない	バッテリーを ON にして充電してください。 充電終わると必ずOFFに！

よくある動かない原因はバッテリーがキチンと入ってないことが多いです。
今一度確認お願いいたします。

*解決しない場合は販売店までご連絡ください。



YouTubeで使い方見れます。

〒581-0052 大阪府八尾市竹渕1-222-5
メンテナンス・修理：合同会社介護タクシー・アド
TEL:06-6773-9945 FAX:06-6773-9944



搬送器具福祉関連機器・製造販売

株式会社 アド

使いやすさと心地よさを追求した福祉関連機器の製造し販売しています。